

令和5年度 第4回 和田東小学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年2月21日（水） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 和田東小学校 会議室
- 3 出席委員 渡瀬 三郎、小出 幸雄、村松 信子、金原 匡利
鈴木 香里、鈴木 佐知子、鳥居 弘起
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 中村 まゆみ（児童民生委員）
- 6 学 校 大橋 英之（校長）、中村 あづさ（教頭）、本樫 俊介（CS 担当教員）
飛永 百合子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 飛永 百合子

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、小出委員から会長の村松委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1） 令和5年度学校評価について
- （2） 来年度の学校運営の基本方針
- （3） 学校運営協議会の自己評価
- （4） 夢育やらまいかCS 加算分の報告

12 会議記録

司会から、委員総数7人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。また、前回の会議録について説明があった。

（1） 令和5年度学校評価について

司会の指示により、本樫教諭から令和5年度学校評価について資料に基づき説明があった。

自信をもって学習に取り組めるように支援をしていく。キャリア教育の意義やねらいが児童や保護者にまだ十分に伝えられていない。安全な校内歩行の仕方や自転車の乗り方には課題がある。より自然なあいさつができるようにしていきたい。いじめについては、ささいなものも認知している。いじめ防止基本方針の理解を深め実践している。学校のいじめ対応についてご意見をいただきたい。

委員からは以下のような発言があった。

- ・評価を見ると、子供は自信をもっているが、保護者はこうあってほしいという思いがある。（村松委員）
- ・いじめられた場合の助けの求め方についても対応することが必要ではないか。（小出委員）
- ・「わの森」の伐採をありがとうございました。いじめのことは、子供同士のうちに解決したい。
ラインで流したりすることもあるのでむずかしい。（佐知子委員）
- ・多様性を受け入れようという言葉がある。多面的な見方を学んでほしい。鈍感力（自分自身を

認める力)も必要か。仕事に付いてからも強みを生かして気にしないことは必要。それを学ぶことによりいじめを減らすことにつながっていくのでは。(金原委員)

- ・ 韓国の教育をテレビでやっていたが、個々の能力を発揮していっていいいじめもなかった。これからの教育は変わらざるを得ないだろう。(村松委員)
- ・ いじめは親としては心配。アンケートはありがたいが、書けない子もいると思う。小さなことでも連絡をくださいと言ってもらえると保護者も言いやすい。(香里委員)

(2) 来年度の学校運営の基本方針

司会の指示により、校長から来年度の学校運営基本方針について資料に基づき説明があった。

今回は概要をお話する。グランドデザインを、分かりやすく文字を少なく表記した。来年度も校訓、学校教育目標、合い言葉は変わらない。知・徳・体の重点項目は下線の部分を変更している。コミュニティスクールの成果を生かしながらさらに充実させていく。

委員からは下記のような発言があった。

- ・ 自分が思う形にさせていただいていると思った。(金原委員)
- ・ とてもわかりやすくなった。(佐知子委員)
- ・ 安全面として、安間川の橋の欄干が低いので落ちる危険がある。子供も気を付けてほしい。(渡瀬委員)

(3) 学校運営協議会の自己評価

評価項目 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか

評価項目 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか

評価項目 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか

評価項目 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・ 全体的に難しい内容ではあるが、振り返りながら最後には来年度の目標を考えたい。(村松委員)
- ・ 「学校応援し隊」の活動が学校にとってどうなのか会合を持とうと思ったが、学校が協力してほしい具体的なことを協力するという意見だった。(村松委員)
- ・ 保護者は学校に言いづらいこともあるようだ。皆さんが仲介役になれる。(渡瀬委員)
- ・ 保護者へのPRをしたらどうか。たよりをつくるとか。(村松委員)
- ・ この協議会は和田東をよくするためにそれぞれの立場でやる方がいい。(小出委員)
- ・ 活発な意見が出た。にこぴん池清掃や他のこともできた。来年度はもっと別なこともできると思う。(村松委員)
- ・ 学校と学校をとりまく団体が垣根を低くして、相互に問題を出しあったらいいと思う。(鳥居委員)
- ・ ボランティアの組織ができていることがすばらしい。自分として何ができるか。(佐知子委員)
- ・ この会のメンバーが素晴らしい。いい活動が続けていくのはいいが、なくすことも必要ではないか。(金原委員)

- ・自分からなかなか発信できなかったが、この会を通して地域の方に見守られて子供が安全に過ごしていることがわかった。(香里委員)
- ・コロナによって様々なことが、なくなった。見直しのきっかけになる。(小出委員)

(4) 夢育やらまいか CS 加算分の報告

教頭から、今年度の予算 6 万円は、ボランティアの方へのお茶・畑の肥料・花壇の土や苗に執行した旨の報告があった。

その他報告事項等

司会から、次回の会議は、令和 6 年 4 月 2 5 日（木） 1 3 時に開催する旨の連絡があった。